

第9回 済生会地域包括ケア連携士養成研修会 プログラム

プログラムの構成

1. eラーニング・テキストによる事前学習 (9/1～11/9)
2. オンライン研修【Zoom】(11/13)
3. 対面研修【会場：済生会本部】(11/24～25)
4. レポート提出 (11/26～12/21)

1. 事前学習【eラーニング・テキスト】

《 令和8年9月1日（火）～11月9日（月）の間に受講および課題（ミニレポート）提出 》

別紙「第9回済生会地域包括ケア連携士養成研修会 事前学習 eラーニング科目一覧」参照

2. オンライン研修【Zoom】

《 令和8年11月13（金） 》

時 間	内 容
13：15～13：30	受付（Zoomへのログイン）
13：30～13：40	オリエンテーション 済生会本部 社会福祉・地域包括ケア課
13：40～15：10 (90分)	地域包括ケアシステムと地域共生社会 文京学院大学 人間学部 人間福祉学科 中島 修 教授 ・ 地域包括ケアシステムと地域共生社会 ・ 地域福祉の推進とネットワークづくり
15：10～15：20	休 憩
15：20～16：50 (90分)	意思の尊重と意思決定支援 かわさき社会福祉士事務所 川崎 裕彰 所長 ・ 本人の意思の尊重と意思決定の支援 ・ 成年後見制度と日常生活自立支援事業
16：50～17：00	閉 会（対面研修に向けての連絡事項等）

3. 対面研修【済生会本部】

《 令和8年11月24日（火）～25日（水） 》

時 間	内 容
12：30～13：00	受付
1日目（11/24）	オリエンテーション 済生会本部事務局 社会福祉・地域包括ケア課
13：00～13：15 (15分)	・ 挨拶：松原 了（社会福祉法人 恩賜 済生会 理事） ・ 本日のスケジュールと今後について
13：15～14：45 (90分)	済生会地域包括ケア連携士の理念と済生会が目指す地域包括ケアシステム 炭谷 茂（社会福祉法人 恩賜 済生会 理事長） ・ 済生会の歴史と生活困窮者支援 ・ ソーシャルインクルージョンの理念とその実現 ・ 済生会が目指す地域包括ケアシステムと済生会地域包括ケア連携士

14:45～14:55	休 憩
14:55～16:25 (90 分)	支援に活かす I C F
	大川 弥生（元 国立長寿医療研修センター研究所 部長）
	・ I C F の特徴：「生きることの全体像」についての「共通言語」 ・ I C F の支援への活用：アセスメント・目標設定
16:25～16:35	休 憩
16:35～17:05 (30 分)	実践報告と連携士会のご案内
	全国済生会地域包括ケア連携士会
	・ 連携士による実践報告 ・ 連携士会のご案内
17:30～19:30 (120 分)	懇 親 会
	・ 事前申込による懇親会（任意）

2 日目 (11/25) 9:00～10:30 (90 分)	医療・福祉・介護の連携と多職種連携
	日本社会事業大学専門職大学院 鶴岡 浩樹 教授
	・ 在宅における医療と介護の連携の実際 ・ 多機関・多職種連携 ・ 地域におけるサービス提供体制の構築
10:30～10:40	休 憩
10:40～12:10 (90 分)	ソーシャルワークの本質と実践
	立教大学 松山 真 特別選任教授
	・ ソーシャルワークの本質 ・ 支援を要する人たちへの全人的理解と支援
12:10～13:10	昼 休 み
13:10～17:20 (250 分) * 途中休憩あり	グループワーク
	全国済生会地域包括ケア連携士会 鈴木 孝尚（済生会保健・医療・福祉総合研究所 人材開発部門 上席企画員）
	・ 事前学習の振り返り ・ 地域課題の把握と解決に向けて
17:20～17:30	閉 会

4. レポート課題の提出【研修終了後】

《 令和 8 年 11 月 26 日（木）～12 月 21 日（月） 》